

### 平成27年度『非行防止キャンペーン』を実施しました!!

この活動は、内閣府が定めた『青少年の非行・被害防止全国強調月間』（7月）、『子ども・若者育成支援強調月間』（11月）に合わせ、非行・被害防止と子ども・若者育成支援への関心を高めるために行っています。

#### 横須賀中央駅周辺

7月11日(土) 16時〜



いのか?などよく周りを観察して工夫することで、すべてを配り終わる頃には、仲間と競争しながら楽しんでる様子でした。今回の子どもたちの活動が、夏休みにおける青少年の非行防止と保護につながると嬉しいです。中園 晃充

#### 汐入駅周辺

7月18日(土) 16時〜



③ キャンペーンの様子  
青少年の見守りに協力をお願いする声掛けしながら、チラシと風船を配布しました。坂本中の生徒が積極的に声掛けと配布を行っており、その取り組み姿勢には感心させられました。青少年にとって健全な社会環境作りへの一助となればと思います。井上 浩文

#### 追浜駅周辺

7月25日(土) 16時〜

暑さの厳しい中、夏休みに入っ  
て最初の土曜日夕刻、鷹取と追浜  
中学校および横濱創学館と追浜高  
校の生徒たち、そして各学区青  
少年育成活動地域連絡会のメンバ  
ーなど総勢65名の参加で行われま  
した。

非行・被害防止の声かけをした  
若者たちと街を行き交う人々との  
さわやかな触れ合いの場でした。  
このコミュニケーションの輪がさ  
らに大きく広がっていくことを願  
います。



ぎでハイタッチやハグをしていま  
した。そんなうれしそうな姿に、  
大人たちもつられて笑顔になりま  
した。

石渡 謙司

大津、常葉、不入斗の中学生21名、先生と青少年育成推進員20名の総勢41名で、今年も横須賀中央駅前のYデッキ付近にて、非行防止への呼びかけをしながら、チラシとティッシュを配布しました。知らない人へ声をかけて配ることはなかなか難しいことです。子どもたちは、最初は戸惑いながらも、どのような人がティッシュを貰ってくれるのか?どの場所がよ

#### ① 開催場所

よこすか芸術劇場周辺

#### ② 参加者

坂本中学校の生徒6名に近隣の  
小中学校5校から校長や先生方、





青少年育成推進員十周年特別企画

### 座談会 『これまでの十年・これからの十年』

8月6日(木)はぐくみかん5F会議室にて開催。芦澤協議会会長、安藤前協議会会長、濱野こども育成総務課課長、佐藤青少年会館館長、織田協議会副会長、小川協議会会計にお集まりいただきました。(座長 里見広報研究部会長/写真・記録 小林)



芦澤協議会会長



濱野課長



織田協議会副会長



安藤前協議会会長



佐藤館長



小川協議会会計



座長 里見

**里見** 青少年育成推進員連絡協議会を企画しようという話が出まして、本日お集まりいただきました。それでは、まず初代会長から、設立当時の話などを、お聞かせください。

**安藤** 青少年の健全育成に取り組み指導員と非行防止に取り組む相談員を一本化して、青少年育成推進員制度を創る時には、名称から始まって、活動をどの単位(小学校/中学校)にまとめるかなど、諸課題が山積していました。しかし、それらを改善しながら乗り越えてきました。

**里見** 皆さんからも、何かこんなこととがありますとか、順にお聞かせください。

**濱野** 平成18年4月に大きな節目があったこと、新たなスタートをするところに辿り着くまでが、本当に大変だったということが、よくわかりました。青少年育成推進員を取りまわっている協議会は、青少年の育成と非行防止という観点から大きな位

置を占めていると思っております。

**芦澤** 青少年指導員と青少年育成推進員としては、多分20年近くになり、現在、会長を受けております。この10年で、協議会主体の活動は幾つかに収斂しましたが、中学校区の地域連絡会活動に温度差があって、それぞれの地域の子どもの体験に差ができてしまうのではと危惧しています。

**織田** 私は10年です。推進員が始まった時に、初めて青少年に関わりました。2期目の時に環境部会長になって、非行防止キャンペーンを汐入一カ所でやっていたのを、地域に分散して開催できるように提案しました。そうしたら、うちでもやりたいたいという声があって、追浜と汐入と中央と衣笠、久里浜の5地区で試験的にやってみました。そうすると地域でやるから、声掛けもしやすいし、知り合いの話もそこでできてしまふ。それが結果的に良かったので、次の年からは11地区に増やしました。我々の活動を、地域の人たちに

知らせるきっかけづくりになったと思います。

**小川** 私も指導員と推進員を合わせて20年近くなります。私は、この活動は大人目線であってはならない、すべての大人は子ども目線であって欲しいと思っています。また、そのように心がけていくべきと思っています。

**佐藤** 他市の方から、横須賀市の青少年育成推進員は、どのような経緯で立ち上げたのですかとといった問い合わせや、活動が活発で良いことですねといった褒めの言葉をいただきます。

**里見** 色々、お話ししていただきましたが、10年以降はどうしていただくについて、お聞かせください。

**芦澤** 10年以降は、さっき言った温度差の話で、子どものことを考えれば、なるべくならば、均一化とかレベルを合わせるというか、そういうものが必要だろうなというふ

### 活動報告 『がんばってます！青少年育成活動地域連絡会!!』

#### じゃがいも掘り

6月7日(日) 岩戸中学校区 今年度は岩戸学区の子ども会と岩戸中学校に声をかけて開催したじゃがいも掘り。参加者は140名に上り、集合場所の光が丘公園が小さく見えました。ここから農園までは徒歩で15分。中学生たちは信号のある交差点に立ち、小学生と未就学児の安全を見守り、農園ではうまく掘れない子どものお手伝いをしました。さすがに中学生、見本となる良きお兄さんとお姉さんでした。

R. M.



#### 小学生自転車安全教室

7月11日(土) 武山中学校区



荻野小学校校庭で、ユースネット武山主催の「小学生自転車安全教室」が開催されました。育成推進員およびBMS(武中ボランティアグループ)、小中学校のPTA役員も応援に来ていました。今回は、武山中学校区の武山小・富士見小・荻野小から小学生39人、幼児5人、保護者30人が参加。横須賀警察交通安全課の職員お二人の指導の下、校庭に描かれた模擬コースを子どもたちは真剣に走り、中学生や地域の大人たちが見守りました。

今年で10年目を迎えたユースネットの自転車安全教室。中学生対象

#### ボウリング大会 —いざ真剣勝負—

鷹取中学校区 去る3月21日(祝日)、金沢八景駅近くの「スポーツ八景ボウル」にて鷹取中学生を対象に、ボウリング大会を開催しました。

大会のタイトルを「HAPPY GRADUATION」ボウリング大会」と銘打って、サブタイトルも「いざ真剣勝負!卒業おめでとう」◇そしてこれからもよろしくとし、それを大会のコンセプトとしました。

生徒35名、先生4名、主催者側地域連絡会々長と青少年育成推進員4名で10レーンを使用して、約2時間の熱戦が繰り広げられました。最後に表彰式もあり、皆さん笑顔でボウリング大会を楽しんでいました。学校外での活動でもあり、制服も脱ぎ、クラスの枠を外れての解放感

#### これからの行事予定

- (行事名/日時/場所/主催)
- わんぱくフェスティバル2015 / H27年10月25日(日)10時 / 県立保健福祉大学/わんぱくフェスティバル実行委員会
- 中学校対抗ウォークラリー / H27年12月6日(日)9時 / 久里浜中学校区内/連絡協議会
- 活動体験発表会 / H28年2月13日(土)13時 / 横須賀市立青少年会館/連絡協議会
- クリーンアップ公郷 / H28年3月5日(土) / 公郷中学校通学路 / 公郷中学校区
- アインシュタインラボ / H28年3月19日(土) / 久里浜中学校体育館/久里浜中学校区
- ボウリング大会 / H28年3月下旬 / スポーツ横須賀(シヨップパイズ・プラザ内) / 衣笠中学校区

もあって、素直な姿が見られました。そんな明るく融和な関係を大切にしていってほしいです。

石渡 謙司



**里見** この辺で、よろしいでしょうか。長時間に亘り、ありがとうございます。

**濱野** 青少年の健全育成、非行防止、これからの子どもたちの大事な未来のことをやる役目を担っていただく方たちです。いろいろな問題があると思いますが、こちらとしてもより良い体制を作れるようにしたいと思います。

うに思っています。



## 横須賀三浦地域 青少年指導員活動研究会

6月28日(日) 県立保健福祉大学



講師の高橋 伸先生（国際基督教大学）より「レクリエーションゲーム指導法」の研修を受けました。導入に色々なじゃんけん遊び、和やかな雰囲気が出てきました。次にみんなで輪になり、座ったまま行う手遊び的なゲームを楽しみ、みんな仲良くなりました。そこでグループの団結みたいな気持ちができ、そのまま屋外へ行き、クツプというニュースポーツを対戦形式で楽しみました。

最後にゲームを指導するポイントの講義がありました。  
① リーダーは、参加者が気を散らせず話を聞ける見やすい位置に立ち、話をする（太陽の方向、風向きなど）。

- ② 大きな声でハッキリ話す。
- ③ ルール説明は手短かに。
- ④ 導入は簡単なゲーム、少人数から行う。
- ⑤ 盛り上がり過ぎてきたら早めにやめ、次に移る。
- ⑥ 安全に注意する。

何気なく受けているものも、色々ポイントを押さえられているのだなと思えました。  
今後の活動に活かしたいと思えました。

松元 陽子

## 青少年の非行・被害防止 啓蒙パネル展示

7月27～31日 市役所本庁舎



また、この時期がやって来ました。環境研究部会の今年度最初の行事で、テーマを決めて資料作りをして、パネルを作成して展示します。毎年、時節の話題に合った

パネルを作ること心がけています。

今年は危険ドラッグと深夜徘徊を題材に取り上げましたので、各地域でのイベントなどにもこのパネルを使って下さると、私たちも嬉しいです。

佐々木 教之

## 平成27年度 青少年の健全育成を 進める県民大会

7月11日(土) 13時

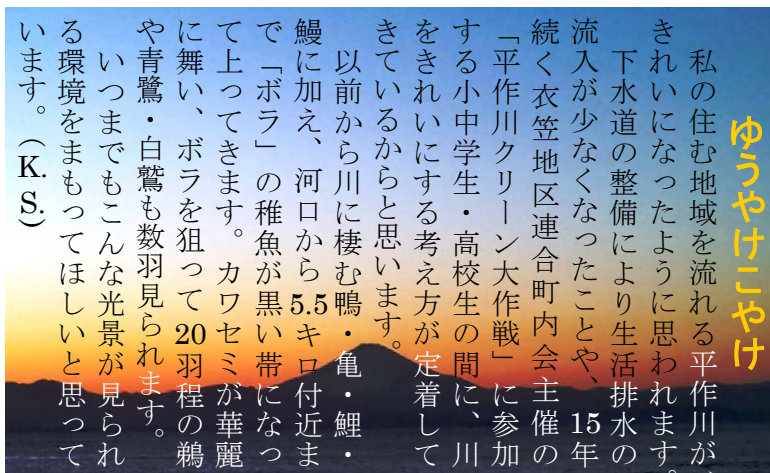
「青少年の健全な成長を支える地域社会づくり（必要とされることの意味）」をテーマに、県立青少年センターで行われました。県立金沢総合高等学校ダンス部59名の息の合ったダンスで、会場は盛り上がりました。

ボランティア社会の可能性と教育プログラムの開発について研究されている興梠 寛（こうろきひろし）氏（昭和女子大学特任教授）を講師に迎え、「必要とされることの意味」をテーマに、ボランティアライフをとおして、自己肯定感を育む環境づくりについて講演が行われました。

パネルディスカッションは「自分らしい社会参加とは」をテーマにして、「大人に求められていることは何か（居場所のない青少年にできることは何か）」について問題提起され、議論が行われました。

青少年の健全育成に向けて、一人ひとり何ができるのか、それを考える良い機会になり、今後の活動のヒントにしていきたいと思えました。

矢口 さをり



私の住む地域を流れる平作川が、きれいになったように思われます。下水道の整備により生活排水の流入が少なくなったことや、15年続く衣笠地区連合町内会主催の「平作川クリーン大作戦」に参加する小中学生・高校生の中に、川をきれいにする考え方が定着してきているからだと思います。

以前から川に棲む鴨・亀・鯉・鰻に加え、河口から5.5キロ付近まで「ボラ」の稚魚が黒い帯になって上ってきます。カワセミが華麗に舞い、ボラを狙って20羽程の鶺鴒や青鷺・白鷺も数羽見られます。いつまでもこんな光景が見られる環境をまもってほしいと思っています。（K.S.）

### 編集後記

前号で紙面をカラー化し、今号でレイアウトを刷新しました。今後とも、思わず読みたくなるような広報作りを目指します。（M.K.）

